

放送メディアデザイン

選 択

開講年次：4年次前期

科目区分：演 習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■科目的ねらい：音声や映像を不特定多数に配信する放送メディアは、多様な形態に拡張している。放送技術と視聴文化の歴史と現状を理解し、今日の放送メディアの可能性と展望を理解する。テレビジョンからインターネットやデジタルサイネージまで多様な放送形態と技術を概観し、従来の放送局モデルとはことなる「パブリック」な映像コンテンツの企画を立案する。グループでデジタル・ストーリーテリングの手法を用いた人物描写ドキュメンタリーを企画、制作する。

■到達目標：

- ①放送メディアの成り立ちと歴史、文化を理解する。
- ②デジタル・ストーリーテリングの手法と制作プロセスを理解する。
- ③ドキュメンタリーの企画制作を通じて、制作マネジメント能力を獲得する。

■担当教員：

石田 勝也

■授業計画・内容：

- 第1回 オリエンテーション。放送メディアデザインの射程。多様な放送形態。
- 第2回 デジタル・ストーリーテリングの解説。個人テーマ設定。
- 第3回 映像作品鑑賞（1）。
- 第4回 個人テーマ映像上映。
- 第5回 グループ企画課題説明。グループ企画立案。
- 第6回 映像作品鑑賞（2）。
- 第7回 企画立案発表。
- 第8回 ドキュメンタリー対話ワークショップ。
- 第9回 グループ映像制作（1）。
- 第10回 グループ映像制作（2）。
- 第11回 映像編集、ポストプロダクション。
- 第12回 映像上映（1）。
- 第13回 映像上映（2）。
- 第14回 上映ふり返り。
- 第15回 まとめ。

■教科書：なし

■参考文献：授業時間に適宜指示する。

■成績評価基準と方法：課題、プレゼンテーション、授業態度により総合的に評価する（作品60%、レポート30%、授業態度10%）

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	○	○	○	課題に取り組む姿勢と到達目標への達成度。	30
授業態度	○	○	○	積極的な授業態度。	10
発表					
作品		◎	◎	企画と内容の独創性と完成度。	60
出席					
その他					2/3以上の出席が必須

○：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：コンテンツ流通技術、メディア芸術論、メディアビジネス、デジタル映像史、デジタルアーカイブ

■その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）：企画制作にあたって外部の取材対象社との交渉が必要になります。放送がつくりだす配信者と視聴者の関係の将来像を考えていきましょう。